

金のすず見つけた！古墳に埋葬された多くの宝物

ちばけんきんれいづかこふんしゅつどひん

千葉県金鈴塚古墳出土品



金 鈴



そうりゅうしきかんとうたち つかがしら
双龍式環頭大刀の柄頭



かざり たち
飾 大 刀



ば ぐ
馬 具

6世紀末の築造^{ちくぞう}と考えられる金鈴塚古墳（県指定文化財：史跡）から出土した大量の副葬品^{ふくそうひん}は、当時の古墳文化を語る上で代表的な遺物が多く飾大刀・鏡・金製の鈴・儀礼用の沓^{ぐつ}・銅製容器類などがあり、奈良県の藤ノ木古墳^{ふじのきこふん}と比較しても副葬品の豊富さでは見劣りしません。

国指定重要文化財：重要文化財（考古資料）

指定年月日：昭和34年6月27日・令和2年9月30日（追加）

所在地：木更津市太田 2-16-2 （木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：木更津市

員数：一括

公開・非公開の別：公開
